

はあとねっと

Heart Net TAKE FREE
ご自由にお持ち帰りください

Vol.11

岩見沢市立総合病院 広報誌
2019年8月発行

ホームページ

<http://www.iwamizawa-hospital.jp>



撮影:秋田 佳祐



特集

「看護の日」

「医志力」

“Medical Challenge in IWAMIZAWA”

新任のご挨拶／職場紹介:内視鏡の職場紹介／レポート:がん相談支援センター
特集:「看護の日」、「医志力」*Medical challenge in IWAMIZAWA。
クッキング:夏パテ解消レシピ／病院からのお知らせ など



看護部 岡本 幹子 看護科長

地域の皆様、こんにちは。看護部の岡本幹子と申します。私は2019年4月から看護科長として、教育を担当しています。当院看護部の理念である「地域の皆様に信頼される、やさしい看護」を実践するため、専門職業人として地域住民に信頼される看護職員の育成、質の高い看護を実践するための必要な学習機会を提供し支援する活動を行っています。皆様のご意見等を大切にしながら、質の高い看護実践に繋がられるように活動していきたいと考えております。よろしくお願ひ致します。また病院見学も担当しております。ご希望のかたはご連絡ください。



看護部 瀬戸 美千代 外来看護師長

この4月に、岩見沢市立総合病院の看護師長を拝命いたしました瀬戸美千代です。私は、同じ南空知管内の長沼町で生まれ育ち、岩見沢市内の学校への進学をきっかけに当院に就職しました。助産師でもあるため、産婦人科・小児科病棟での経験が長く子どもや女性、そのご家族を対象に看護を実践してきましたが、昨年より外来へ配属となり様々な年代の方と関わることで多くの刺激を受け、楽しく仕事をさせていただいています。現在は外来という子育て世代のスタッフが多い部署で、ワークライフバランスの視点で働き続けられる職場を目標に、スタッフ一同患者さんのために頑張っています。当院看護部の理念「地域の皆様に信頼される、やさしい看護の実践」のために、私は「『お互い様、助け合いの精神で』『さわやかに挨拶をしあえる』『地域住民のために』『自分や家族がかかりたい病院となるよう』『誰にでも柔らかく寄り添える』そんな私たちでありたい」ということをスタッフに伝えています。あたりまえのことではありますが、このことを実現できるよう、日々努力していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



看護部 斎藤 伸 手術室看護師長

今年度4月より手術室師長を拜命いたしました斎藤です。
私は、平成19年4月から当院に勤務しており、5階西病棟、メンタルヘルス7階病棟を経て手術室に配属となりました。今まで手術室勤務の経験がなく、手術室看護の難しさや師長として責任の重さを日々感じております。地域の皆様に安全な手術を受けていただくため、術前から患者様とコミュニケーションを図り、安心できる手術環境を整えていきたいと考えています。毎日の業務の中で主任やスタッフの協力のもと、看護部理念である「やさしい看護」を実践するために努力していきたいと考えております。よろしくお願いいたします。



看護部 山下 美紀 4階東病棟看護師長

この4月から、4階東病棟(循環器病棟)の看護師長に任命された、山下美紀と申します。循環器病棟では、心筋梗塞や狭心症の患者様が多く、岩見沢だけではなく南空知全域から紹介され当院で治療を受けて頂いております。私は、看護師になってから26年ずっと市立病院で勤務し、内科・小児科・透析科・産婦人科病棟と外来を経験しました。長く勤めていると、小児科で通っていたお子さんが、立派に成人された姿を見かけることがあります。その時は、仕事を続けていて良かったな、と嬉しく思い、元気を頂いています。現在は、循環器病棟で勤務しておりますが、新人看護師2名を含めた合計23名の看護師でチーム力を発揮させ、地域の皆様の健康を支え続けていくつもりです。皆様、今後ともよろしくお願いいたします。



看護部 松原 美穂 6階東病棟看護師長

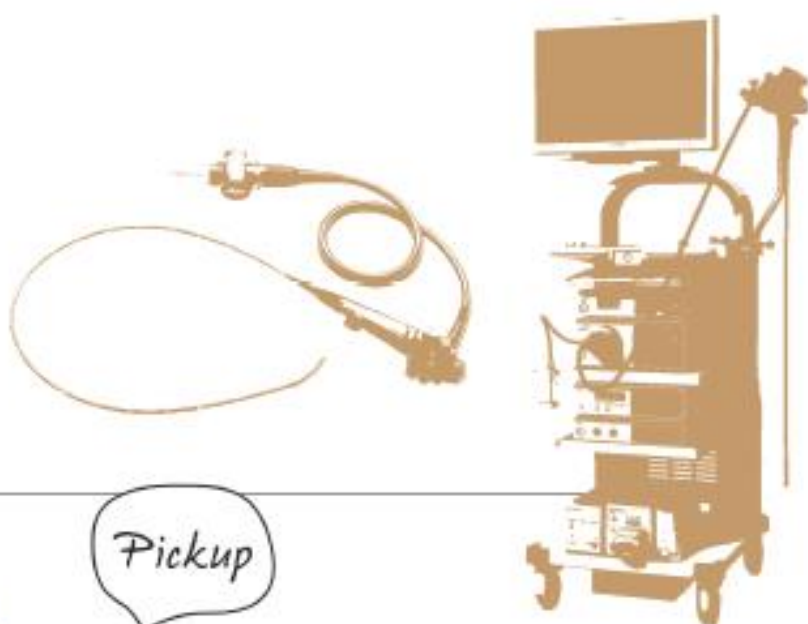
この4月に、6階東病棟の看護師長を拜命いたしました松原 美穂です。体育教師を目指していたわたしが、けがで3ヶ月の入院を余儀なくされたのは、高校1年生の冬でした。目標を失い、落ち込んでいたわたしを、励まし元気づけてくれた看護婦さんに憧れ、この道を選んで26年になります。「師長」という姿は、当時は想像もしていませんでしたが…わたしが所属している消化器内科病棟は、近年、入院患者さまが急増しており、地域でも需要の高い科となっています。毎日、多くの検査や処置、緊急入院など急性期の治療に携わっている中、「自分の家族だったらこうしてほしい」を想像し、患者・家族のみなさまに寄り添えるよう、スタッフと共に奮闘しています。

Workplace
Introduction

職場紹介

内視鏡の職場紹介

外来看護師長 瀬戸 美千代



Pickup

当院の内視鏡室では、高性能の医療機器を導入し、胃や大腸カメラ、気管支鏡、カプセル内視鏡など幅広い検査や治療を行っています。

胃がんや大腸がんといった消化器系の腫瘍は早めに早期発見、早期治療を行うかが非常に重要です。

内視鏡の検査は苦しいというイメージをお持ちの方が多いたと思います。

内視鏡の専門資格を取得した看護スタッフが常勤しており、検査に対する不安や緊張、検査時の苦痛を最小限にし、地域の皆様に安心して検査や治療を受けていただけるよう心がけております。



〈レポート〉

がん相談支援センター

当院では、2019年4月に「北海道がん診療連携指定病院」として、北海道より指定を受け、がんに関する様々な相談に対応するため「がん相談支援センター」を設置しました。

当センターでは、専任の医療ソーシャルワーカーと緩和ケア認定看護師がお話を伺い、問題を解決するお手伝いをさせていただきます。

社会福祉士 深坂 謙志朗

主な相談例

- がんの治療、検査、副作用について知りたい
- これからのことが不安で話を聞いてもらいたい
- 治療をしながら在宅で生活をしたいがどうしたらいいか
- 医療費の支払いなど経済的な心配がある
- 治療を受けながら仕事ができるか心配
- 家族としてどの様に支えればいいのかわからない など

当院かかりつけの患者様とご家族様はもちろん、他院かかりつけの患者様とご家族様のご相談も対応します。

一人でも多くの方が、「がん相談支援センター」をご利用いただくことで、不安や疑問を解消し、安心して治療・療養ができるように努めてまいります。

また、当センターでは毎月第一火曜日にがんサロンを開催しております。

同じがん患者さんと話をしたい、思いや情報を共有したいという方々が集まり、語りあって頂く場となっています。議題などは特に設けず自由に語っていただけることが特徴となっています。

ご興味のある患者様、ご家族様がいらっしゃいましたら、がんサロンをご紹介ください。事前予約なども必要なく、開催日に気軽に足を運んでいただければと思います。他院かかりつけの患者様とご家族様も参加可能です。

岩見沢市立総合病院 がん相談支援センター

がん相談支援センター

心身の辛さ
将来の不安
薬の副作用
治療の選択、療養場所の選択
セカンドオピニオン
経済や経済的な問題 など

相談日時
平日9:00～16:00

代表 (0126) 22-1650 内線1278
E-mail gansodan@mc.city.iwamizawa.hokkaido.jp

〒085-0855 岩見沢市中央1丁目2番地
岩見沢市立総合病院
地域医療連携室 がん相談支援センター

参加無料

同じ悩みを持つ人が集まって

気軽に話ができる
交流の場です

がんサロン

毎月第1火曜日
午後2時から

岩見沢市立総合病院 がん相談室

〒085-0855 岩見沢市中央1丁目2番地
電話 (0126) 22-1650 内線1278

特集 看護の日

看護の日週間

3階西病棟看護師 南部 敦子

岩見沢市立総合病院看護部では、ナイチンゲールの生誕にちなんで毎年看護の日週間として、イベントなどを行っています。

「看護の日」は、「看護の心・ケア・助け合いの心」を広く国民が分かち合う事が必要と厚生労働省によって1990年12月に制定されました。

看護の日は全国的に5月12日となっています。

今年度は6月24日～28日が当院の看護の日週間でした。

- 1、看護の専門職として実践していることを地域に発信する
- 2、次世代を担うものへの看護職の魅力を伝達するという目的を掲げ看護の日委員会 メンバー17名が中心となりイベントを行いました。



イベントその1

活躍する看護師さんと題して、専門分野で活躍している看護師の紹介を廊下に掲示しました。

イベントその2

来院された方を対象にロコモ体操を紹介しました。

体操に参加された方には岩見沢市で発行している「健康ポイント」が付与されました。

イベントその3

教育大生にお越しいただき、各病棟でミニコンサートをおこないました。

イベントその4

市内の高校生を招待し、看護体験をしてもらう「ふれあい看護体験」をおこないました。



特集 医志力

“Medical Challenge in IWAMIZAWA”

副院長
上泉
洋



ダヴィンチ
体験



このイベントは、2014年「ブラックジャックセミナー」の名称で始めました。昨年からは、「医志力」“Medical challenge in IWAMIZAWA”と名称を変えて多くの医療メーカーに協力を得て、開催しています。今年は6月8日に市立病院の2階外来と手術室を利用して行いました。

今年は、手術ロボットda Vinci(札幌から旭川間の地域では初めての導入!!)の使用体験、本物の手術器具を使用しての縫合・糸結び、豚の肝臓を使った胆嚢の摘出手術、豚の気管切開と人工呼吸、血管内カテーテル操作体験、手術室での救急蘇生体験や、模擬患者さんの診察・治療決定を行いました。

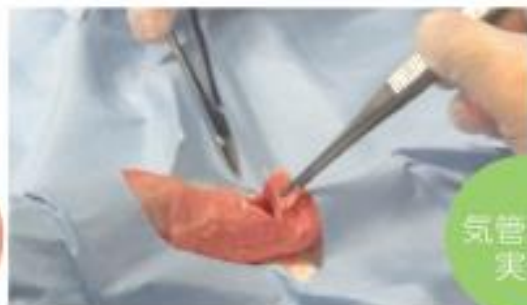
2015年からは多数の医学生も参加してのイベントとなっており、高校生にとっては進学のための情報収集ができるよい機会になっております。

50~60名以上の参加者を迎え、毎年、盛況を博しております。このようなイベントは道内に他にないと思われます!! 今後も、年に1回開催していく予定です。市内の高校生で医学に興味がある、医師になりたいと考えている方、参加希望がありましたら、是非、ご連絡下さい!

(連絡先は当院事務庶務係長になります)



胆嚢摘出
実習



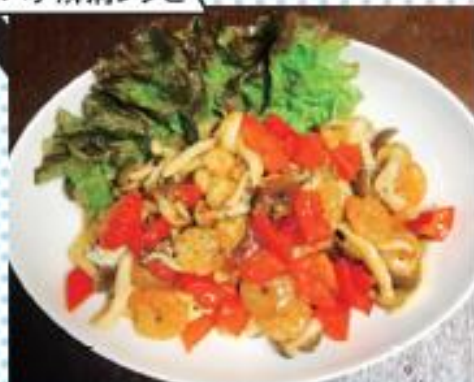
気管切開
実習



Cooking クッキング

栄養科 山本 光希

夏バテ解消レシピ



エビの甘酢炒め

材料 2人分

○むきえび	150g	○赤パプリカ	50g
○えびの下味		○レタス	1枚
○酒	小さじ2	○★酒	小さじ2
○塩	小さじ1/3	○★しょうゆ	大さじ1
○こしょう	少々	○★酢	大さじ1
○片栗粉	大さじ1	○★砂糖	小さじ2
○しめじ	60g	○★片栗粉	小さじ1/2

作り方

1. むきえびはキッチンペーパーなどで水気を取り、酒・塩・こしょう・片栗粉で下味をつける。
2. しめじは石づきを切ってほぐし、パプリカは食べやすい大きさに切る。
3. 鍋に油を熱し、エビを入れ、エビが焼けてきたら、しめじ・パプリカを入れて炒める。
4. ★を混ぜ合わせ、3に加えてからめる。
5. レタスを敷いた器に盛り、完成。



エビは高たんぱく・低脂肪な食材のため疲労回復に役立ちます。またタウリンを多く含み、高血圧・動脈硬化の予防に効果があります。しめじはβグルカンを多く含み、免疫力を高める効果があります。彩りをよくしてくれる赤パプリカは、抗酸化作用があり、老化などの原因となる酸化ダメージを軽減する働きがあります。

申請 受付中

(内科・消化器科)

指定難病及び 特定疾患更新申請

臨床調査個人票

特設会場にて内科・消化器科の
患者さまの受付と行っております。

内科・消化器科以外の患者さまは、
従来どおり1階文書窓口にてお受けします。

日程 令和元年6月26日(水)～9月30日(月)

時間 9時～15時30分

場所 中央待合ホール特設会場

担当 医事課医事情報係

お気軽にご相談ください

お問い合わせ 医事課医事情報係

TEL.0126-22-1650 岩見沢市立総合病院

地域医療連携室

令和元年5月より地域医療連携室は、本館2階から本館1階へ移動となりました。

地域医療連携室は、本館1階正面玄関から右前方向にございます。



はあとねっと第11号をお届けいたします。
吹く風に、ゆく夏の気配を感じるようになってきた今日この頃です。病院では、毎年実施されている災害訓練に向け準備を進めているところです。またサービス向上委員会による患者満足度調査(入院編)も実施中です。患者さまやご家族からのご意見を参考に、より良い病院づくりへ役立てていきます。今後も「はあとねっと」を通じて、地域の皆さまに新しい取り組みや診療に関する情報をお届けしていきたいと思っております。

鈴木 章彦